

1 瀬戸内海の概況

(2) 瀬戸内海国立公園

1) 国立公園の指定及び特色

国立公園は、我が国の風景を代表するに足りる傑出した自然の風景地であり、自然公園法に基づき環境大臣が指定する。瀬戸内海国立公園は、昭和9年3月に雲仙や霧島とともに我が国最初の国立公園に指定され、その後数回の追加指定と再検討の結果、現在の区域になっているものであり、その面積は、約6万7千ha（陸域のみの数値）である。

瀬戸内海には多くの島がある。この一帯の地域が、複雑な断層活動によってモザイク状に刻まれ、それが沈水したことにより島になったものであり、小さなものまで数えると、約3,000といわれている。瀬戸内海の風景の最大の特徴は、このような内海多島海景観の中心をなす家島諸島、備讃諸島、芸予諸島、防予諸島などの多島部と、それらを眺める展望地点、それに、いくつもある瀬戸などからなっており、神戸の背後にある六甲山も含まれていることである。

また、この公園の風景のもう一つの特徴は、瀬戸内海の自然と関わっている人間生活である。島々の段々畑や古い港町の家々の並び、巡航船や物資輸送船の動きなど、そこには古くから自然の中に溶け込んだ人間の営みがある。近年においては、本州と四国を結ぶ三橋が開通し、瀬戸内海の風景、交通が大きく様変わりしている。

表1-7 瀬戸内海国立公園の概要

公園名 指定年月日 面積	特 色				関 府	係 県
	総 括	景観・地形地質	動 物	植 物		
瀬戸内海 昭和9.3.16 67,242ha	世界的な多 島海公園 歴史と伝統	内海多島海 大渦流・潮流（鳴門海峡・来島 海峡） 宮島厳島神社等の人文景観 古期火山熔岩台地及び浸食地形 花崗岩山塊（六甲山）	スナメリ アビ等海洋性鳥類 タイ等魚類 カブトガニ	弥山モミ・ツガ自 然林 大山祇神社のクス ノキ群落 生島シイ林 アツケシノウ シオギク等の塩沼 地植物	大 兵 和 岡 広 山 徳 香 愛 福 大	阪 庫 山 山 島 口 島 川 媛 岡 分

出典：「自然保護各種データ」（環境省資料）より作成

表1-8 瀬戸内海国立公園の地種区分別、土地所有別面積一覧表

（単位：ha）平成30年3月31日現在

総面積	地 種 区 分						土 地 所 有			
	特 別 地 域						普通 地域	国有地	公有地	私有地
	特別 保護 地区	第1種	第2種	第3種	第1種～第3種 小 計	合 計				
67,242	953 (1.4%)	4,700	31,589	7,537	43,826 (65.2%)	44,779 (66.6%)	22,463 (33.4%)	7,856 (11.8%)	10,853 (16.0%)	48,551 (72.2%)

出典：「自然保護各種データ」（環境省資料）より作成